

切除不能/再発 CDDP+PEM+^レム^ブロズ^マブ療法レジメン(SH)

切除不能/再発 シスプラチン+ペメトレキセド+^レム^ブロズ^マブ療法レジメン

LC-45

総コース数

< 21 日間隔・ 1コース～ 6コース >

治療日		7日以上前 ～	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第5～21 日目	第22日目
治療内容									
検査	採血		○						○
診療	副作用の問診		○						○
	検査結果		○						○
治療中止 基準	①WBC<3000 or Neu.<1500 ②血小板<100000 ③発熱・CRP上昇 ④PS 2以上		—						—
プレメ ディケー ション	調剤用パンビタン末 1g1×	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	メコバラミン注射液500μg 2A 筋注(9 週毎)	↓							
点滴	① 生食 50ml 点滴静注【全開】		↓						↓
	②生理食塩50ml +キイトルーダ 200mg 点滴静注【30分】 フィルター付きルートで		↓						↓
	③ 生食 50ml 点滴静注【全開】		↓						↓
	④KN1号 500ml +アロカリス 1V +パロノセトロン 0.75mg 1V +デキサート 3.3mg 3A 点滴静注【1時間】		↓						↓
	⑤生理食塩液 100ml +アリムタ 500mg/m2 点滴静注【10分】		↓						↓
	⑥KN1号 500ml +硫酸マグネシウム 8ml +アスパラK 1A 点滴静注【1時間】		↓						↓
	⑦KN1号 500ml 点滴静注【1時間】		↓						↓
	⑧マンニトールS 300ml 点滴静注【30分】		↓						↓
	⑨生理食塩液 500ml +スプラチン注 75mg/m2 点滴静注【1時間】		↓						↓
	⑩KN1号 500ml +アスパラK 1A 点滴静注【1時間】		↓						↓
	⑪KN1号 500ml 点滴静注【1時間】		↓						↓
ポストメ ディケー ション	デカドロン錠(0.5) 16錠 分2 朝昼食後			↓↓	↓↓	↓↓			
	パンビタン末：1日1gを初回投与7日前～最終投 与後22日目まで連日投与。								
	ビタミンB12：1mgを初回投与7日前に筋注。そ の後最終投与後22日目まで9週ごとに1回投 与。								

看護のPoint!!

アリムタの骨髄抑制の副作用軽減のため、パンビタン末（葉酸）毎日内服とメコバルミン2Aを9週ごとに筋注する。
 テカドロンは吐き気予防の意味と、発疹予防のために、2・3日目に内服もする。
 副作用として骨髄抑制と皮疹と脱毛の可能性あり。
 シスプラチンによる腎障害予防のため、3日目までは飲水摂取と利尿を確保する。
 マグネシウムとカリウムは腎障害予防のための薬